

笑雲

第60号
発行：平成25年10月6日

祥雲館

社会福祉法人 桃林会
〒563-0101
大阪府豊能郡豊能町吉川187-1
TEL：072-733-2301
FAX：072-733-2303

番号をお間違いないようご注意ください

周辺 案内図



新規事業を控え、あらためて、理念に立ち還る

「人材育成は、理念があってこそ！」

介護現場の 人材育成の現実

介護現場では、介護技

術や知識の吸収は、職員の経験値が上がるにつれマスターされることが多く、仕事の業務手順のマスターは時間の経過とともに解決されることが多く見受けられます。初任者でも半年から約1年が経過すれば一人前と評価される現実があります。

求められるのは、
『施設理念の基づいたあるべき思考(働く姿勢)』

私たち祥雲館の理念は、
「アート(Art)&サイエンス(Science)」です。

この短いフレーズに込められた想いとは、「私が気づく」「私が心配する」「私が考える」「私が行う」という、利用者や地域への『想い』をアート『感性の矛』として位置付け、また一方で、ご利用者を取り巻く状況や生活歴、既往歴などを、ケアの理論といった科学的裏付けによって客観的に分析する冷静さをサイエンス『理性の盾』として位置付け

ます。

祥雲館では、職員が『感性の矛』と『理性の盾』を総動員し、利用者との巡り合いから両者の主体性と個性が引き出されケアが成立すると考えます。利用者の生きる価値を見出し、地域へ貢献していく、あるべき思考(働く姿勢)を育成しています。

理念がケアに 活かされた事例

胃ろうを造って特養へ入所されたNさん。決まった時間に注入食を注入する毎日を送っておられました。注入のたびに「ご飯が食べたい」と仰るようになり、職員の想いも同じでした。

しかし、熱い思いを表現させるためには、まず安全であることが大切です。ご本人の希望をどのように受け入れていくべきか、考えられる危険な

ことを客観的に分析し、どうすれば安全に口からご飯を食べることができるか、医師、看護師、介護職員、管理栄養士などで話し合いました。食事の形態や食べていただく時間、食事の分量など、常に話し合いながら、少しずつ段階的に口からご飯を食べていた

できました。

職員の熱い想いと安全体制の下、Nさんは徐々に回復され、今では皆さんと一緒に食堂で食事をしてもらえます。

職員の想い

とNさんの身体状況への客観的な判断から、Nさん本人の希望が実現した、理念

私たちの理念

“Art & Science”

1. 私たちは、私たちを必要とする全ての方々の思いに共感し支えます。
1. 私たちは、利用者を、地域を、仲間を、施設や法人を、愛し敬う心を大切にします。
1. 私たちは、人から家族へ、家族から地域へ、地域から社会への信頼と貢献の波をつくります。

が活かされた事例であると思います。
理念は様々な実践を通して磨かれるべきもの
新規事業を翌年に控え、改めて「Art&Science」この短いフレーズに多くの、そして深い意味が込められていることを再認識しています。私たちはこの短いフレーズを糧とし、質の高いケアが可能、な人材を育成するための方策を模索しています。また、質の高いケア実践や利用者との対話を通して、この理念を磨いていきたいと考えます。

祥雲館 Café

第16回 あなたは狙われていませんか？

今回は、豊能警察署の方をお招きし、消費者被害など悪質な犯罪について、寸劇や実際の事例などを交えながらご講話いただきます。被害防止のために、皆さんと一緒に学びませんか。



【日 時】平成25年10月26日(土) 10時～12時
【場 所】吉川公民館1階
【会 費】200円(茶菓代として)
【テーマ】「消費者被害を防止する」

豊能警察署の方による寸劇、事例の紹介

お申込みは、祥雲館 TEL：072-733-2301 まで

TOPICS

★100歳のお誕生日会（7月20日）

グループホームのお誕生日会。ケーキに100本のローソクを飾ってお祝いしました。ひ孫ちゃんもお祝いに来てくれて、とても嬉しそうでした。



★畑へ行きました（7月25日）

新館近くの畑の野菜作りをされているNPO法人大阪府北部コミュニティーカレッジさんより、野菜作りの見学で畑にご招待いただきました。ピカピカの野菜を見て、皆さん生き生きとしていました。いただいた野菜は、お昼のおかずに調理しました。



★オリジナル「お好み焼き」（7月28日）

特養ユニット「うぐいす」の家族会。家族さんと一緒に作った「お好み焼」、慣れ親しんだ味に箸がすすみました。食事の後は、「スイカ割り」にチャレンジ！大きなスイカはなかなか割れず、最後はスタッフが手伝ってやっと割れました。あまーくて、おいしいスイカでした。



★初登場！「天ざるそば」（7月31日）

今日の新館の昼食は、揚げたて天ぷらとおそばです。



★施設見学会を開催しました（8月4日）

8月3日、来年春卒業者向けの施設説明見学会を開催しました。



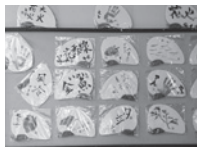
★デイスミレ 蓮の花を見てきました（8月5日）

蓮の花を見に能勢の田尻へ行きました。皆さん、蓮池一面に咲く蓮の花を見て少々興奮気味でした。翌朝、買って帰った「蓮のつぼみ」が見事に咲き、何とも言えないピンク色の花に「ワ～!!」と歓声をあげました。



★書道教室の風景（8月16日）

デイスミレで、ボランティアの先生による「書道教室」です。今月はうちわを作りました。真っ白なうちわに、習字で字を書き入れました。作品はデイスミレの廊下に掲示していますので、ご覧ください。



★クラブ活動報告「バレーボール」（8月19日）

大阪民間共済会バレーボール大会に祥雲館バレーボール部が参加しました。惜しくも予選敗退でしたが、皆さんよく頑張りました。来年リベンジするか……!? 楽しみです。



★チャリティTシャツ（8月25日）

4階フロアのスタッフ全員がチャリティTシャツを購入しました。これを着ていると、なんだか周りの雰囲気も明るく楽しくなりますね～！「私たちにできること」「私たちだからできること」いっぱいあると思います。ニッポンって素敵なおとこですね～。



★特養従来型・夏祭り（8月31日）

特養従来型（3階・4階合同）、夏祭り（BBQ）を行いました。当初はご家族も招待し、約150人でのBBQ・花火大会を企画していましたが、台風の影響で天候が不安定だったため、急遽、利用者さんとスタッフだけの食事会となりました。いつもと違う夕食の雰囲気に喜ばれていました。



※今回の家族会を楽しみにしていたご家族の皆様、急遽の変更に快く了承いただきありがとうございました。

TOPICSはホームページでも詳しくご覧いただけます。

桃林会 祥雲館

検索

facebook
始めました!



桃林会祥雲館 facebook

検索

次の発行は平成26年1月5日(日)です



暑い夏を乗り切ろうということで、先日「みずほ夏祭り」を開催！即席の盆踊り大会の様子です。

盆踊りでは、「私は無理」と言っていた方が踊る踊る。スイカ割りでは、ふだん物静かな方がスイカを一刀両断。皆さん、楽しい時間をありがとうございました。



デイスミレセンター みずほ
夏祭り
レクレーション

9月は敬老の日ですね。グループホームの100歳の男性入居者が、昨年に引き続き豊能町の最高齢者です。そこで、9月4日、田中龍一町長がお祝いに来てくださいました。今年の誕生日には、みんなで100本のローソクを立てた誕生日ケーキで盛大にお祝いしました。

この暑い夏でも、体調を崩されることなく、元気に過ごしておられました。いづれでも元気でいらしてください。



豊能町最高齢者表彰を
いただきました!

昨年よりグループホームのスタッフ2名が「バリデーションワーカー研修」を受けています。この研修は約1年かけて行われ、最後に筆記試験と実技試験に合格しないとバリデーションワーカーの資格を得ることができません。

この研修では、入居者の感情や思いに寄り添い、共感するという大切さ、難しさを感じながら取り組んでいます。担当の講師からは、時に厳しい言葉を浴びせられたようですが、いよいよ最終

バリデーション
ワーカー研修



段階に入り2人とも頭の中はバリデーションのことでいっぱいなのでしょう。この1年は2人にとつて忘れられない年になるでしょう。見事合格できると、みんなですっかり応援したいと思っています。

※バリデーションワーカーとは、認知症の人とコミュニケーションを実践したり、認知症の人へのコミュニケーションに関心のある人をサポートする資格です。

ホスピタリティプロジェクト

ホスピタリティプロジェクト（おもてなし）の活動報告です。

- その1 スタッフの顔写真と名前を掲示し、初めての方でも声を掛けやすい環境作りを目指しています。
- その2 「介護現場でよくある光景（NG編）」を集めたDVD（製作：祥雲館職員）をご家族にも見ていただき、私たちの取組みを報告する機会を設けています。
- その3 ボランティアの方々との心のこもった関わり方について考えています。

今年の夏は暑かったですね。温暖化？異常気象？局地的豪雨や竜巻……地球はどうなってしまうのでしょうか？そんな中でも祥雲館の利用者様はお元気です。

今年100歳になられる方が……なんと6名もいらっしゃいます。祥雲館では、100歳の誕生日を100本のローソクを飾った誕生日ケーキでお祝いするのが恒例となっています。ケーキを目の前にしたお顔は、皆さんとても輝いています。スタッフが「輝きの数だけ思い出がある」と言っていた言葉をいつも思い出します。

編集後記